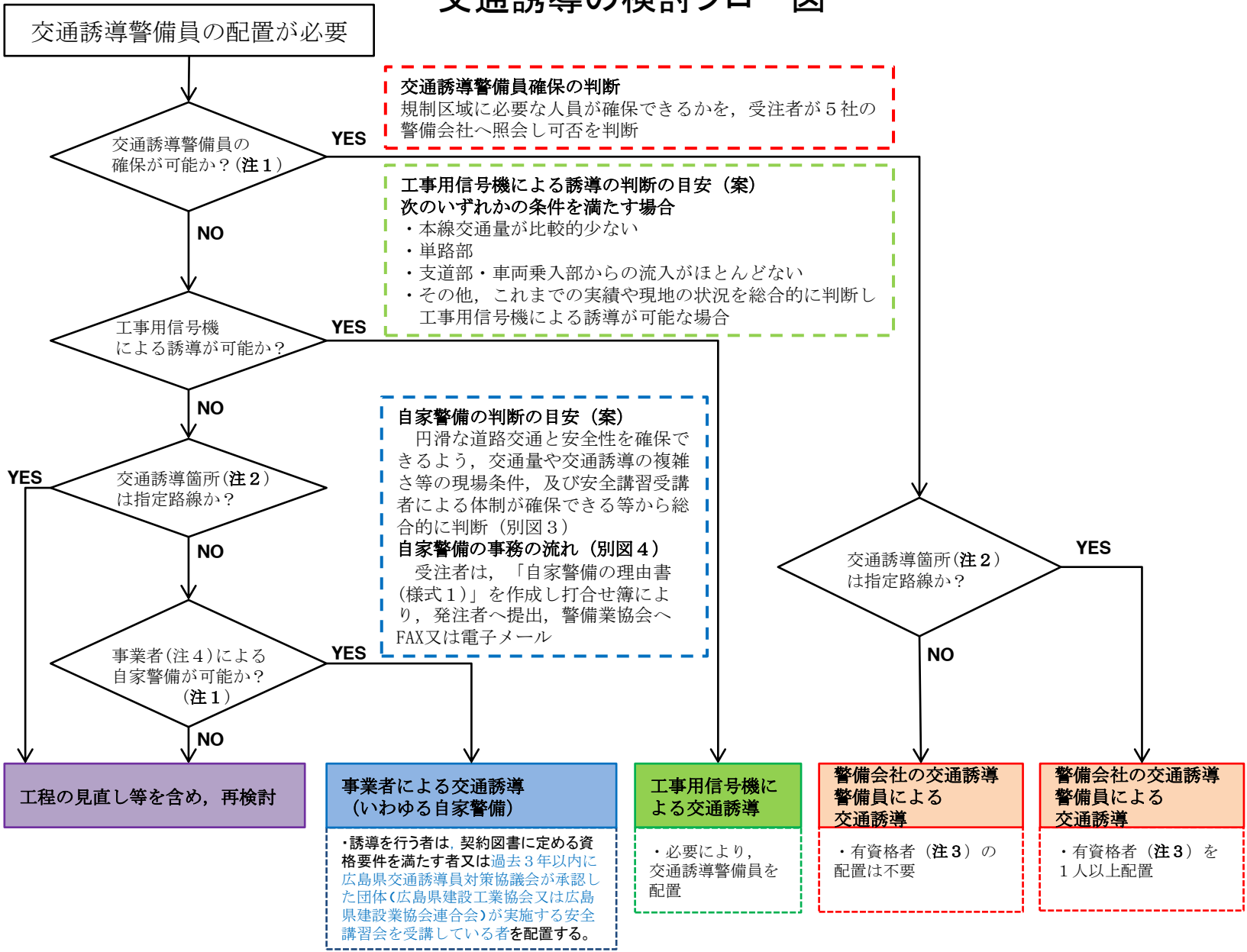


交通誘導の検討フロー図

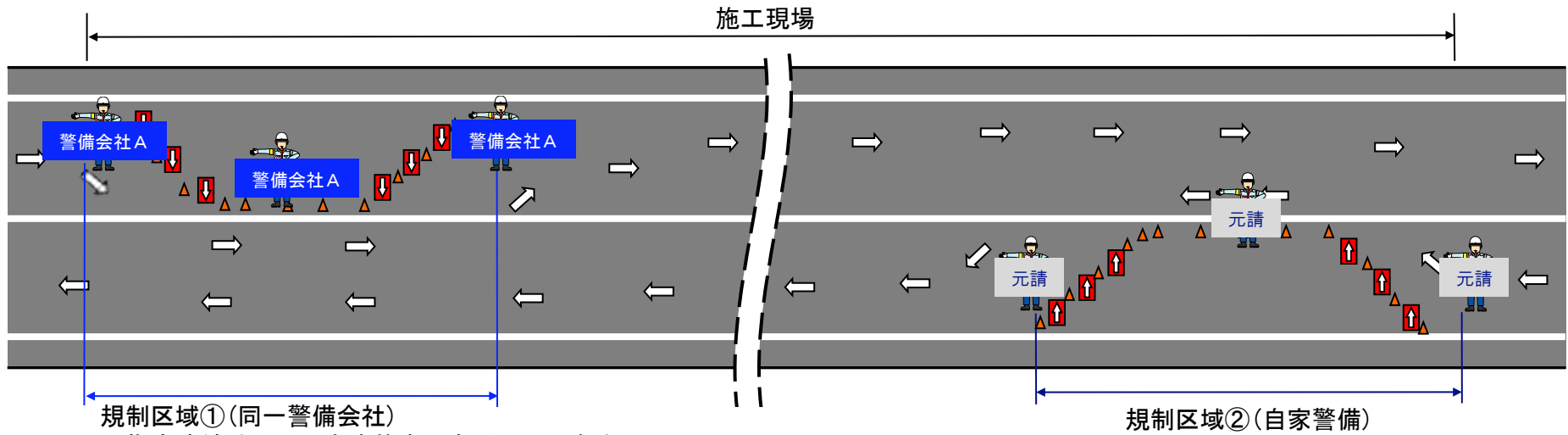


注1：同一の施工現場で複数の警備会社（自家警備含む）が交通誘導警備業務を行う場合は、規制区域ごとに分担し、指揮命令系統が独立していること。（別図1参照）
 注2：沿道からの出入りに伴う交通誘導警備業務を行う箇所も含む
 注3：有資格者とは、交通誘導警備検定合格者（一級及び二級）をいう。
 注4：事業者とは、当該工事元請業者又は下請業者が主体となって施工する場合は下請業者をいう。（別図2参照）
 ※ ドライバーに対し「注意して走行」するよう周知すること
 ※ 工事用車両の経路上で配置が必要な場合は別途検討する ※ 自家警備実施中に、当該業者等の過失により交通事故が発生した場合、当該業者等がその損害を賠償する場合があることに留意する。

同一規制区域では、同一の業者で行わなければならない。（労働者派遣法の違反となる可能性有り）

○良い例

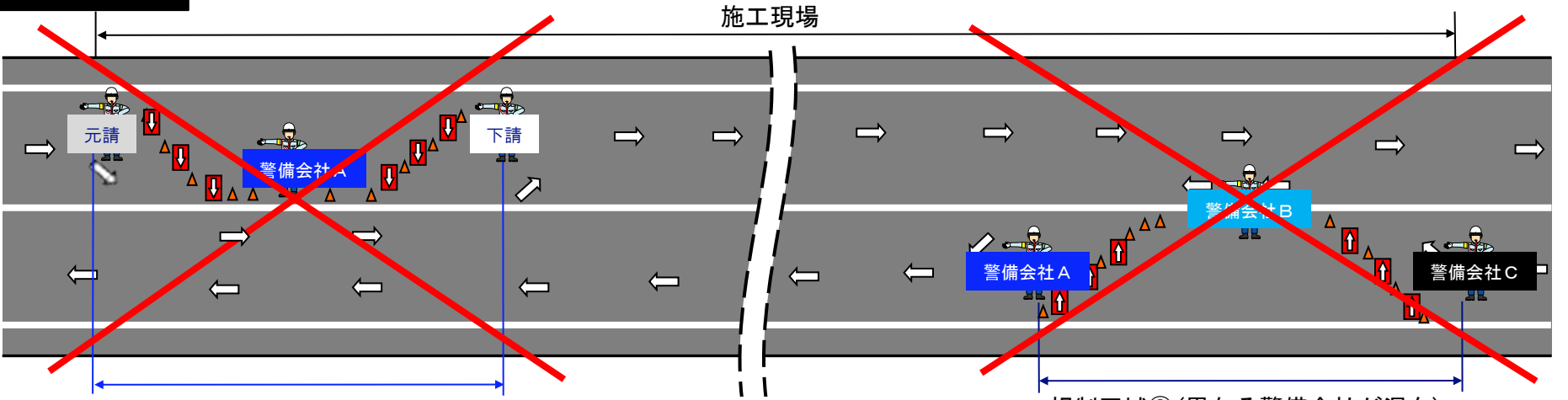
同一施工現場で複数の警備会社（自家警備も含む）が交通誘導警備業務を行う場合は、規制区域毎に分担し、指揮命令系統が独立していればよい。



規制区域① (同一警備会社)
※指定路線外では、有資格者であるかは問わない。

誘導員がひっ迫している場合は、自家警備を認める

×悪い例



規制区域① (事業者と警備会社の混在)

規制区域② (異なる警備会社が混在)

同一規制区域に事業者と警備会社が混在しており、指揮命令系統が独立していない。

同一規制区域に複数の異なる警備会社が混在しており、指揮命令系統が独立していない。

「自家警備」とは、他人の需要によって交通誘導警備業務を行うものではなく、自己の需要に応じて事業者が交通誘導警備業務を行うことである。

ケース1：一次下請業者が二次下請業者まで契約している場合

A社（元請業者）

【工事概要】

- ①舗装版破碎工 (A=300m²)
- ②舗装工 (【A工区】A=100m²+【B工区】A=200m²)
- ③区画線工 (L=50m)

B社（一次下請）

【工事概要】

- ②舗装工 (【B工区】A=200m²)
- ③区画線工 (L=50m)

C社（二次下請）

【工事概要】

- ③区画線工 (L=50m)

《自家警備できる業者》

- ①舗装版破碎工 →A社
- ②舗装工【A工区】 →A社
- ②舗装工【B工区】 →B社
- ③区画線工 →C社

※下請業者による自家警備は、下請契約に関係する部分に限る

ケース2：2社の一次下請業者にそれぞれ契約している場合

A社（元請業者）

【工事概要】

- ①舗装版破碎工 (A=300m²)
- ②舗装工 (【A工区】A=100m²+【B工区】A=200m²)
- ③区画線工 (L=50m)

B社（一次下請）

【工事概要】

- ②舗装工 (【B工区】A=200m²)

C社（一次下請）

【工事概要】

- ③区画線工 (L=50m)

《自家警備できる業者》

- ①舗装版破碎工 →A社
- ②舗装工【A工区】 →A社
- ②舗装工【B工区】 →B社
- ③区画線工 →C社

※下請業者による自家警備は、下請契約に関係する部分に限る

《ケース1の③区画線工施工中に、3名体制で交通誘導警備業務を行う場合》

【可】

C社の従業員3名での交通誘導

【不可】※労働者派遣法の違反となる可能性有り

A社1名+B社1名+C社1名のそれぞれの従業員計3名での交通誘導⇒×

A社の従業員3名又はB社の従業員3名での交通誘導⇒×

※本資料は、基本的な考え方をまとめた参考資料であるため、本資料で挙げたケース以外の施工体制も想定されることから、監督員と事前に協議を行ったうえで、適切に実施すること。

円滑な道路交通と安全性を確保できるよう、交通量や交通誘導の複雑さ等の現場条件、及び安全講習受講者による体制が確保できる等から総合的に判断する

自家警備が困難な場合の例
(交通誘導が複雑な場合)

車両乗入部

交通誘導が複雑であるため、警備会社の交通誘導警備員による交通誘導警備業務を行う。

施工現場

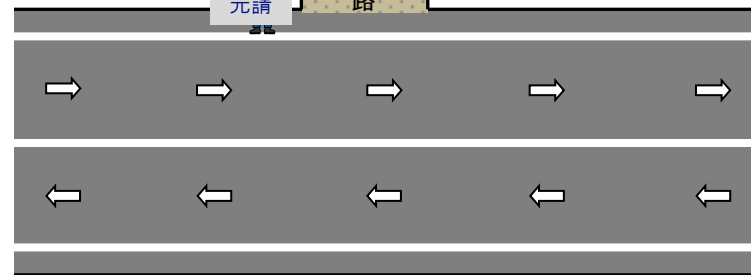
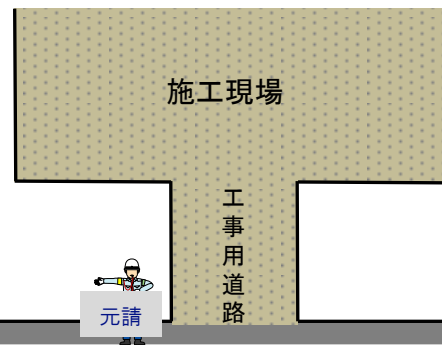
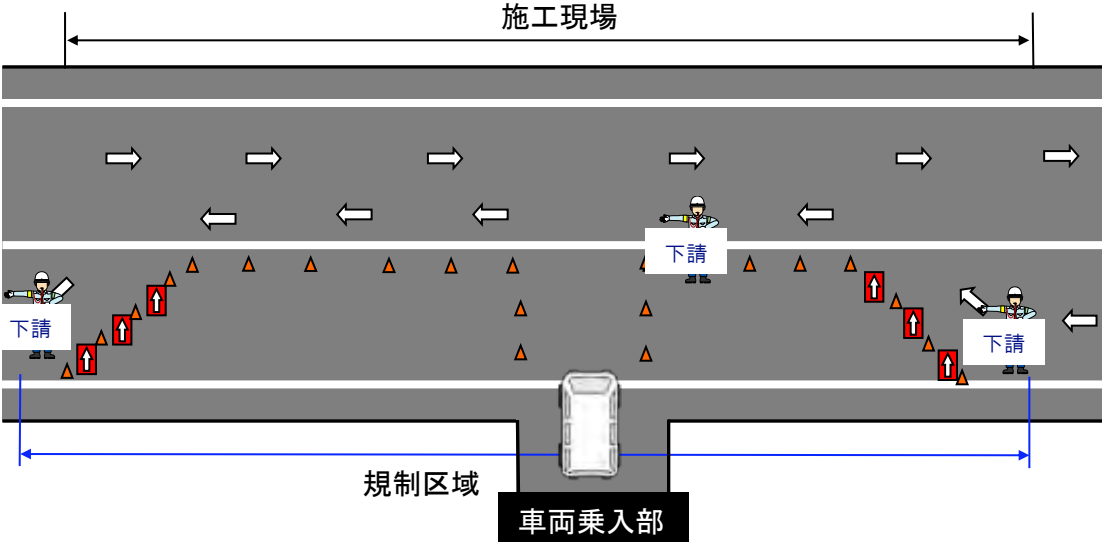


自家警備が可能な場合の例

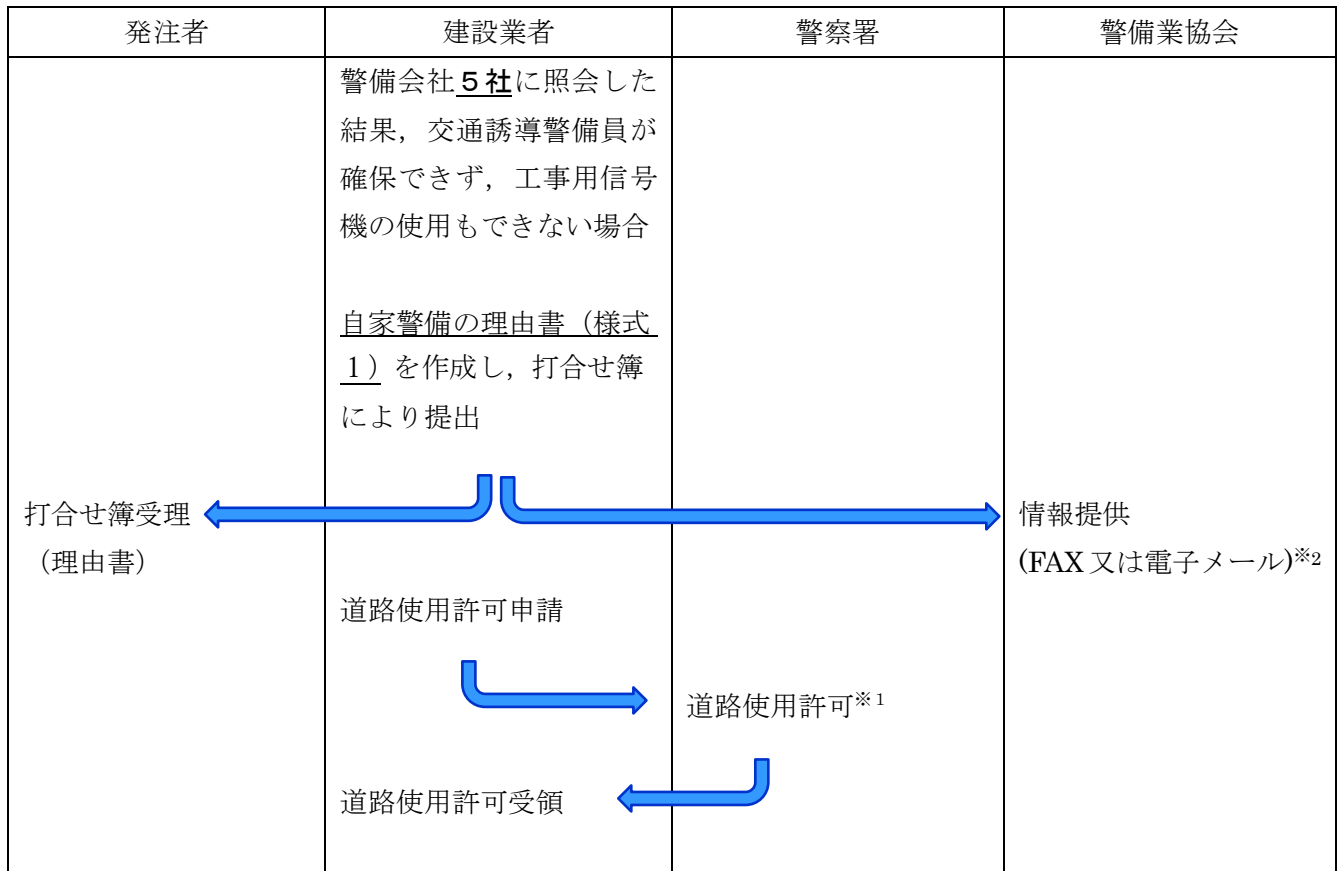
- ・支道部・車両乗入部からの流入が少ない
- ・工事用道路等への出入口 等

施工現場

車両乗入部



自家警備等に至る事務フロー例



※1 道路使用許可における交通誘導警備員は，警備会社の交通誘導警備員だけでなく自家警備も可

※2 交通誘導警備員の確保が困難な状況を踏まえ，警備業協会にも交通誘導警備員の確保に努めてもらうため，情報提供する。